

個別対策コース **応急** 「避難収容・被災者支援」 9月10日(木)～11日(金)

個別対策コース  
**避難収容**  
**被災者支援**

		09:00 ～	09:20 ～	1 09:30-10:45	2 11:00-12:15	3 13:15-14:30	4 14:45-16:00	5 16:15-17:30
9月10日 木曜日	受付	開講式 および オリエンテーション	避難収容と被災者支援の枠組	避難収容と被災者支援の種類と内容	広域一時滞在と被災者への情報提供	応急仮設住宅の確保	要配慮者への対応	
			田村 圭子 (新潟大)	内閣府	小海 崇史 (新潟県)	大水 敏弘 (大槌町)	立木 茂雄 (同志社大)	
			避難収容と被災者支援、帰宅困難者対策の全体像を学びます。	避難収容と被災者支援にはどんなものがあるかを学びます。	避難収容対策の新たな課題である、広域一時滞在と被災者の情報提供の実務と課題について学びます。	被災者の避難所からの復興の第一歩となる、応急仮設住宅の用地確保や建設、住民の選考・入所までを体系的に学びます。	避難収容や生活支援対策の中で、配慮を要する住民への対応についての留意点や課題を学びます。	
9月11日 金曜日	受付	避難所運営ワークショップ	被災者への医療活動	被災者生活再建支援	全体討論・閉講			
		鍵屋 一 (跡見学園女子大)	阿南 英明 (藤沢市民病院)	内閣府	有明人材育成 タスクフォース			
		避難収容対策の中心である避難所の運営について、避難所の開設から、住民の収容、運営、閉鎖をするまでの流れや留意点を、ワークショップ形式で学びます。	被災者支援対策で最も重要な課題となる、被災者の健康対策(医療・保健)について学びます。	被災者の応急仮設住宅等からの本格的な復興に向けた、被災者生活再建対策の実務について、被災者生活再建支援法の運用を中心に学びます。	防災力アップのため、避難収容と被災者支援について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考えます。			